

KONAN TODAY



2021
AUTUMN

No. 60



● 特集

進化する融合型グローバル教育

～ニューノーマル時代における国際交流の新たなカタチ～

● なるほど! 甲南アカデミア

文学部
人間科学科 教授

北川 恵

● 特集「人生100年時代の学び」

履修証明プログラムがスタート

重ねた経験が、学びの源泉に。

新たな人生が動き出す、リカレント教育

KONAN TODAY No.60

2021年10月11日発行 [発行]

甲南学園広報部

〒658-8501

神戸市東灘区岡本8丁目9番1号 TEL.078-431-4341 (代)

<https://www.konan-u.ac.jp>



Retrospective of 70 years

甲南大学は2021年4月、開学70周年を迎えました



写真: 読売新聞/アフロ

一期生卒業のころ

アロハシャツにマンボズボン、目元にはサングラス、ヘアスタイルは「慎太郎刈り」という「太陽族」が登場したのは1950年代半ば。石原慎太郎の著書『太陽の季節』の映画化により、若者たちはこぞって、そのスタイルを真似ました。

一方、若い女性たちの間では、大流行した洋画「ローマの休日」や「麗しのサブリナ」でヒロインを演じたオーディリー・ヘップバーンに憧れ、ヘップバーンカットにネックチーフ、サブリナパンツが流行します。メディアを介して提示される「かっこいい」や「おしゃれ」「すてき」といった豊かさに憧れたのです。

この時代は、ほかにも「ロカビリー族」や「カミナリ族」など、新しいスタイルが次々とブームを起こし、既成概念に縛られることに飽きた若者たちが、奔放に行動したいと意志を表し、時代がまぶしく輝いていました。



Special issue

進化する融合型グローバル教育

～ニューノーマル時代における国際交流の新たなカタチ～

甲南大学の国際交流の歴史は古く、1976(昭和51)年の「甲南・イリノイセンター」開設にさかのぼります。同センターは、大学全学のエデュケーション、学習における国際交流を促進する「国際交流センター」に改組され、外国語教育全般を担う機関として1994(平成6)年に開設された「国際言語文化センター」とともに甲南大学の国際化を推進しました。また、2015(平成27)年より、国際社会で求められる「グローバル人材」の素養の涵養を目的に、「融合型グローバル教育」を掲げ、国際交流の新拠点・グローバルゾーン“Porte(ポルト)”の新設などをはじめ、グローバル教育の推進に努めてきました。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、オンライン留学など新たな制度を設け、世界とつながり学びたいという学生の意欲を後押ししています。今号では、これまでの国際交流の歴史を振り返りつつ、ニューノーマルな時代に対応し進化する本学のグローバル教育の取り組みを紹介します。

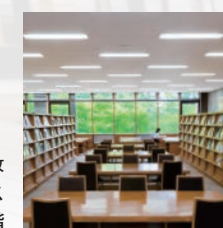
KONAN TODAY

2021 | No. 60
Autumn

CONTENTS

- 01 特集
進化する融合型グローバル教育
～ニューノーマル時代における国際交流の新たなカタチ～
- 08 History
- 05 Presents
- 07 Action
- 09 特集「働く」を考える
変化していく就職することの価値観。
重要なのは、自らのキャリアについて、
主体的・能動的に考え行動すること
- 10 [甲南大学キャリアセンター]
各々の個性と時代の変化をふまえ、
十人十色の未来を支援する
- 11 学生の声を聞いてみました
知能情報学部 知能情報学科 寅巴里 アーデルさん
法学部 法学科 藤井 佑香さん
法学部 法学科 山崎 友輔さん
- 13 なるほど!甲南アカデミア
文学部 人間科学科 教授 北川 恵
**「大人が守ってくれる」
その安心感が子どもの発達を支えます**
- 15 さまざまな分野の第一線で活躍する卒業生
It's KONAN Style
プロGPSランナー 志水 直樹 さん
- 17 高中 Topics
[甲南高等学校・中学校 馬術部]
苦境を乗り越えチームワークで手にした5年ぶりの団体優勝
[甲南リサーチフェア]
自分で調べて仮説を立て、人に説明し、
人から評価され、改善していく
- 19 KONAN TOPICS
- 21 甲南大学開学70周年記念行事のお知らせ
- 22 新任退任教職員紹介
- 23 特集「人生100年時代の学び」履修証明プログラムがスタート
**重ねた経験が、学びの源泉に。
新たな人生が動き出す、リカレント教育**
- 27 岡本ぶらり 第9回
自然に包まれ深呼吸。岡本発、ロング散歩のすすめ
- 29 KONAN FORUM
課外活動成果報告／新刊一覧 ほか

裏表紙 Retrospective of 70 years



表紙の1枚
岡本キャンパス
図書館2階

History

2021

2021

新たにオンライン留学制度を整備
9月より協定校等に限った留学(送り出し)を一部再開

2020

ウィーバー州立大学(アメリカ)と
ダブルディグリー協定締結
コロナ禍の影響により、留学中の学生に
帰国や渡航中止を指示。その代替として
オンライン版留学プログラムを提供

2017

国立聯合大学(台湾)と交流開始
2017度より外国人留学生
(正規留学生)受け入れ開始
2018年度は4名が入学

2015

国際交流の拠点
グローバル・ゾーン(Porte)を開設

2009

短期留学体験型プログラム
「エアスタディーズ」を立ち上げ
東海大学・国立台北大学(台湾)、
北京郵電大学(中国)と交流開始

2010

2011
厦門大学(中国)、
慶熙大学校(韓国)等と
交流開始

2006

「留学のための英語集中コース」が発足
奨励留学開始。欧米圏協定校拡大

2005

漢陽大学校(韓国)と
交流開始

2001

「国際言語文化科目」を開設

2000

1998

ハワイ大学マノア校(アメリカ)との
夏期日本語短期集中講座開始

1976 「甲南-イリノイプログラム(Year-in-Japan Program)」がスタート

イリノイ大学をはじめとするアメリカ各地の大学に所属する大学生が、日本での約9か月間のホームステイを通じて、日本の文化・社会などの生きた姿を理解し、本学での諸活動へ参加することにより、相互交流を行うプログラム。留学生はホストファミリーと寝食をともにし、交流を深めました。1978年には本学からイリノイ大学への短期留学プログラム「甲南-イリノイ夏期英語講座」が開始されました。その後、イリノイコンソーシアムとして、イリノイ大学に加え、ハワイ大学マノア校・ピッツバーグ大学・アリゾナ大学(いずれもアメリカ)が加盟校となりました。現在、「甲南-イリノイプログラム」は「甲南大学イヤー・イン・ジャパンプログラム(Konan University Year-in-Japan Program)」と名称を変え、1976年以降現在に至るまで本学で運営を行っています。



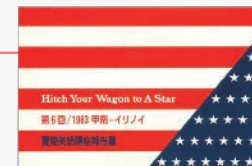
「甲南-イリノイプログラム」の
ウェルカムパーティーの様子



☆☆
Pick up

思い出が凝縮された
「甲南-イリノイプログラム」の報告書
「Hitch Your Wagon to A Star」

1983年に行われた「甲南大学-イリノイ夏期英語講座」は報告書によると、大阪国際空港(伊丹空港)から成田国際空港を経由して、アメリカへ出発。イリノイ大学への授業料や寮費など必要経費は日本円に換算し、約35万円(当時1ドル=240円)に。ほかにも現地視察や観光などの航空運賃や宿泊料は合算して約55万円ほどかかり、約2か月間の滞在で約90万円だったそう。



1999

ライプツィヒ大学(ドイツ)、
トゥール大学(フランス)等と交流開始

1997

カールトン大学(カナダ)等と
交流開始

1994

国際言語文化センター設置
(全学の外国語教育を担う機関)

1990

国際交流センター設置

1982

イリノイ大学(アメリカ)と
学生交換協定締結。
最初の長期留学生1名が同大学に留学。

1976

国際交流の拠点となる「甲南・イリノイセンター」開設
「甲南-イリノイプログラム
(Year-in-Japan Program)」がスタート。
第1期留学生21名が来日。

1971

日本マクドナルド
1号店・銀座で開業

1970

ジャンボジェット機
初就航

※内容は一部抜粋し掲載(当時の内容含む)。
現在は上記内容を一部変更している場合があります。

甲南の国際交流 /



歴史をひもとく

イリノイ大学と結んだ絆を始まりに
世界の大学と積極的に交流を広げる

☆☆
Pick up あじさいの一む

留学生が集うあじさいの一む。「あじさい」は神戸では「市民の花」として親しまれ、この名が付けられたと言われています。写真は3号館2階に国際交流センターがあった時のもの。現在あじさいの一むは2号館1階のPorte内に設置されています。



1978

英語力の向上を目標とした
2か月間の短期留学プログラム
「甲南-イリノイ夏期英語講座」がスタート。
第1回の参加者27名が出発。

1978

ディスコブーム

☆☆
Pick up エリアスタディーズ

国際理解へのきっかけをつかむための夏期・春期休業期間を利用した1~2週間程度の短期留学体験型集中科目。アジアや欧米圏の国を対象にプログラムを実施しています。現地大学での講義や現地学生との交流、企業訪問等を通じて、国際社会を多面的に体験できます。1年次から参加可能です。

※単位認定あり



1990年代~ 協定校の拡大

マードック大学(オーストラリア)、
リーズ大学(イギリス)、
ビクトリア大学(カナダ)、
ニューヨーク州立大学
バッファロー校(アメリカ)等と
交流開始

Column

1970年ころ 当時の日本社会は……。

Fashion

ヒッピー族にベルボトム
ミニスカートの流行

60年代後半にアメリカの若者の間で生まれた“ヒッピー”ムーブメント。既成概念に縛られた社会を否定する価値観は日本の若者にも支持され、ファッションではベルボトムが流行。同じころ日本で初めてミニスカートが発売されブームに。



World

海外渡航の自由化
高額!?だった海外旅行

日本人の海外渡航が自由化されたのは1964年。当時発売されたハワイ9日間のバック旅行が約36万円で、現在の物価に換算すると約400万円と、いかに高額だったかがわかる。このころ、金融機関には海外旅行代金の積み立て預金があったほど。

Culture

ビートルズにツイッギー、
海外文化がブームを起す

法被姿でタラップからビートルズが来日したのは1966年、日本武道館で初のロックコンサートは5公演で約5万人の観客を集めた。また「ミニの女王」イギリスのファッションモデル ツウィッギーの来日はミニスカートの流行に拍車をかけた。



「融合型グローバル教育」の今に迫る

コロナ禍を経て、新たなステージを迎えた

甲南ならではの融合型グローバル教育

世界を襲った新型コロナウイルス感染症は、学生たちの海外留学や学びの場にも大きな影響を与えました。甲南大学は、この状況をどのように乗り越えたのでしょうか。中井学長に、これまでの歩みと挑戦、さらに「KONAN U.VISION 2025」が見つめる未来についてお話を伺いました。

学部に関係なく、すべての学生が

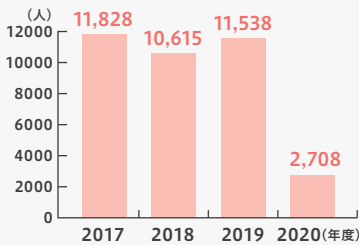
グローバルに活躍できる力を養うために

本学は、創立者・平生鈆三郎が掲げた建学の精神「世界に通用する人物たれ」に基づき、グローバルに活躍する人物教育に力を注いできました。他大学にしばしば見られる国際系学部が存在しないのも、学部を問わずグローバル教育が必要だという考えによるものです。2015年からは、長坂悦敬前学長（現理事長）のリーダーシップのもと、その理念をさらに明確化して推進。各学部で身につける専門知識を柱に国際力や行動力をプラスして多様な分野で活躍できる能力を育成する「融合型グローバル教育」を目標に掲げ、全学を挙げて取り組んでまいりました。留学をサポートする国際交流センター、全学の外国語教育を担う国際言語文化センター、学部を横断したプログラムの策定を行う共通教育センターの「融合」も図り、すべての学生が世界と出合える環境と機会を拡充。その象徴ともいえる学内留学空間グローバルゾーン「Porte（ポルト）」では、留学生との交流を楽しむ中で外国語を学ぶアクティビティやワークショップを、活発に開催するとともに1年次の英語授業とも連携し、

グローバルゾーンの利用状況

交換留学生や留学経験のある学生と自由に交流したり、英語によるアクティビティを通じて語学力の向上、異文化理解が促進できる岡本キャンパスのグローバルゾーン「Porte（ポルト）」は、毎年延べ約10,000人前後の利用者を数えます。2020年度は新型コロナウイルスの拡大によりオンラインアクティビティへの切り替えなどがあり減少しています。

利用者数(推移)

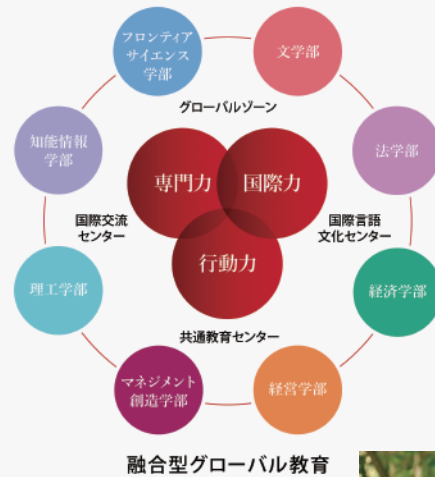


アフターコロナも視野に入れた

オンライン留学と国際交流プログラム

コロナ禍においては、国際交流プログラムのオンライン化を急ピッチで進めてまいりました。カナダやアメリカの協定校による3～8週間程度の授業を海外の学生とともに受講する「オンライン留学」、短期留学体験を行う「オンラインエリアスタディーズ」の実施が、その代表例です。さらに甲南大生と海外協定校学生が参加するオンラインワークショップや海外協定校学生を対象とした日本語オンラインホームステイプログラムも開催。その他にもグローバルゾーン発のプログラムとして各学部の教員が海外経験を語る「Professor's Café」、国際的に活躍するゲストを招く「グローバル★ツナガルCafé」、海外協定校の学生と日本語で交流する「日本語Café」など、多様な切り口から英語や異文化を学ぶイベントを行っています。

当初は、リアルな留学の代替策としてスタートしたオンラインによる国際交流プログラムでしたが、履修カリキュラムの都合で長期滞在の困難な理系学部の学生が通常の講義を受けながら海外の大学の授業を体験できたり、岡本キャンパスで開催されることの多い各種アクティビティに西宮やポートアイランドキャンパスの学生が気楽に参加できたりと数々のメリットが明らかになってきました。アフターコロナにおいても渡航する留学に加えて、場所や時間による制約の



融合型グローバル教育

甲南大学 学長

中井 伊都子



誰もがキャンパスにいながら異文化に触れる環境を整えています。

また、「HOP・STEP・JUMP」の段階別留学制度で留学をサポートする独自のプログラムを実施。学内で留学生と触れ合い、言語や文化を教え合う「HOP」に始まり、1週間から2週間程度、海外を訪問する「エリアスタディーズ」など短期留学に参加する「STEP」を経て、3か月から最長2年間の中長期留学に挑戦する「JUMP」へ…。無理せず成長できる段階を設けるとともに、それぞれの体験に「KONAN グローバルサティフィケート」のポイントを付与して認証し、一人ひとりの学ぶ意欲を高めています。

少ないオンライン留学も選択肢の一つとして活用し、グローバル教育のさらなる充実・向上に役立てる方針です。

よりアカデミックに、より挑戦しやすく、

「F・I・T なリユ・カツ」がめざす未来。

甲南新世紀プロジェクト「KONAN U.VISION 2025」を策定し、「融合型グローバル教育」はさらなる発展の段階を迎えました。中長期留学に現地学生とともに専門科目を受講する「交換留学」、語学力を伸ばした後に現地の学部授業に合流する「語学プラス交換留学」、最短3か月から半年間、語学を中心に学ぶ「奨励留学」に加え、2016年より本学独自の協定校に、JSAF（日本スタディ・アブロード・ファンデーション）の認定校留学先約120校を拡充し、一人ひとりの興味や目的、能力に応じた留学を選択できる体制が整っています。

今後、学内外やオンラインでの国際交流プログラム、短期留学やオンライン留学などを充実させ、「F・I・T なリユ・カツ（留学活動）」を全力でサポートしてまいります。「F・I・T」とは、「Flexible（フレキシブル）・Individual（インディビジュアル）・Timely（タイムリー）」の略であり、段階別留学制度のもと、すべての学生が自分に合う（F・I・T）する留学のカたちを見つけてほしいという願いを込めたことばです。

また、外資系企業や海外の大学院進学などハイレベルな進路をめざす学生を対象にウィバー州立大学（アメリカ）に2年間留学して卒業要件を満たせば、最短4年半で同大学と本学の学位を取得できるダブルディグリープログラムを開設。現在は、経済学部のみが対象ですが、順次他学部にも拡大する方針です。さらにホスピタリティやアートなど特定の領域を学べる「専門スキル留学」（仮称）も実現に向けて準備中です。所定の入学試験に合格し、本学で学位を取得する正規留学生も少しずつ数を伸ばし各学部で活躍しています。学びを止めず、現状に満足することなく常に次代を見つめて甲南のグローバル教育は、これからも進化します。

➡ 協定校等に限った留学(送り出し)を一部再開

本学では、感染症危険情報レベル2以上の国・地域への渡航を一律に禁止するという方針をとってきましたが、国内外でワクチン接種が進んできたことや、文部科学省から大学間交流協定等に基づく海外留学プログラム等について、学生の安全確保に万全を期することを前提として再開を認める通達があったことをふまえ、留学(送り出し)一部再開にかかる新たな方針を2021年7月に策定しました。この方針により、国や地域の感染状況・感染防止策を十分に把握でき、学生への支援体制を取ることが可能な協定校等への留学(官民協働海外留学支援制度を含む)は、渡航先が外務省感染症危険情報レベル2以上であっても、個別の事情を考慮して判断することになりました。個々の協定校の状況を確認したうえで、2021年度秋出発より留学プログラムを一部再開しています。

※9月15日現在



➡ 新たにオンライン留学制度を整備

協定校が実施するオンラインでの短期語学プログラム(3～8週間程度)を新たに整備しました。海外渡航が解除されても、日本で学ぶことを希望する学生や理系学部の研究や課外活動などで時間的に制限のある学生にとっての新たな選択肢として期待されています。また、エリアスタディーズや海外語学講座も渡航ができない代替措置としてオンラインで実施しています。

➡ ダブルディグリープログラム

経済学部では2020年度より、ウィバー州立大学(アメリカ)とのダブルディグリープログラムを開始しました。このプログラムでは、1～2年次は本学で学修し、3年次から同大学に留学することになります。プログラムを修了し所定の要件を満たせば、本学と同大学の両方で学士の学位を取得することができます。



➡ オンラインでのイベントも充実

日本語Café	Professor's Café
協定校の学生と日本語を使ってゲームや日本文化を紹介するなどオンライン交流会を実施。	海外経験のある学部教員が「学部」×「グローバル」をテーマに自身の経験を語るトークイベント。
グローバル★ツナガルCafé	ランゲージパートナー / Language Chat
グローバルな舞台で活躍するゲストスピーカーをオンラインで招待し、学生の将来やキャリアのヒントを探るきっかけの場を提供。	甲南大生と留学生がペアになり、言語や文化を教え合い、交流するプログラム。コロナ禍においてはオンラインで実施。
LOFT English Camp	KU International Student Workshop
ミシガン州立大学連合日本センター協力のもと、午前はアメリカ人学生との交流、午後は英語力UPのアクティビティに取り組む3日間のオンライン英語合宿。	甲南大生と協定校の学生がGlobal Citizenshipをテーマに意見交換し、お互いの考え方や経験を共有することで異文化理解力を育むワークショップ。

➡ コロナ禍においても海外との交流を絶やさず、気軽に楽しめる国際交流を継続実施

国際交流の拠点「グローバルゾーンPorte」で実施している「LOFTアクティビティ」は英語を使ってゲームをしたり、先輩学生の英語でのプレゼンテーションを聞いたりして楽しく英語に触れる機会です。留学生はチューター、甲南大生はアシスタントとして学生をサポートしています。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、日本で学ぶ留学生や現地で学ぶ留学生が途中帰国を余儀なくされたほか、緊急事態宣言下で学内への立ち入りが制限されるなど難しい状況でしたが、すぐさまオンラインでの実施に切り替え、2020年度は2708名が参加しました。ネイティブ教員や留学経験者、語学に堪能な学生らが国際交流の場を支えています。





コロナ禍でも環境に左右されず、意欲的に交流に取り組む

予定していた留学を断念せざるを得ない状況においても
意欲的に海外と交流する学生たち。その中から2人の国際交流の経験を紹介します。

[発見と学びの連続。ライブ授業とグループワークで異文化交流]

月曜から金曜まで、想像以上に 濃密だったオンライン留学

2021年6月、ブリティッシュコロンビア大学付属語学学校にオンライン留学しました。受講期間は4週間。月曜から金曜の午前中、現地の先生によるライブ授業を受け、中国などの留学生と一緒にグループワークを重ねました。Zoomのブレイクアウトルームという機能を用いてグループ別にディスカッションするのですが、まるでリアルな授業のように、先

経営学の学びと留学を両立できる 恵まれた環境に魅力を感じて

お金の流れを通じて社会の仕組みを知りたいと考え、経営学を専攻しました。甲南大学のGB（グローバルビジネス）コースは、ビジネスを多角的に学びながら海外の協定大学に留学できる点、他にない魅力です。実践的な英語力を養う科目も多く、1年次から目標に向けて着実に学び進めてきました。しかし2020年春、カナダのビクトリア大学に留学する直前、新型コロナウイルス感染症の流行により留学はキャンセルに。この日のために入念な準備をしていただけにショックを受けましたが、次第に「せっかくの機会だ。自分を見つめなおそう」と前向きに考えるようになりました。企業説明会に参加するなど就職活動も本格的にスタート。業界研究や自己分析を通じて自分が本当にやりたいことは何かを探り始めました。

卒業後は、第一志望の自動車ディーラーで営業を担当します。私にとって自動車は、家族や友人と過ごした大切な時間の象徴であり、幸せな記憶そのもの。そんな自分自身の大切な思い出を土台に、商品としての車売るのではなく、一人ひとりのお客様に「車のある豊かな暮らし」を提案するのが目標です。オンライン留学という異文化交流を通じて、先入観をもたずに他者の意見に耳を傾ける姿勢や自分の気持ちを伝えようとする情熱の大切さを学びました。このかけがえのない経験を営業という仕事やこれからの人生に生かしたいと思っています。

生が頻繁に回ってきては英語をチェックし、丁寧に指導してくださることに驚きました。グループワークも回を重ねるごとにリラックスして会話を楽しめるようになり、社会背景や価値観の異なる海外の留学生と語り合う面白さを実感しました。食料廃棄問題についてプレゼンテーションしたり、現地のゲストを招いてインタビューする際の進行役を担当したりとドキドキしながら挑戦した経験も忘れられません。私自身はスケジュールが合わず参加できませんでしたが、現地学生と交流する課外活動も数多く用意されているため、楽しみながらスピッキング力が養える最高の機会だと思います。

異文化交流の学びを生かし、 提案力のある営業職へ

[オンライン学習ならではの成長も。卒業後は、台湾の大学院へ]

1年次から学内留学を満喫。 視野を広げ、語学力を養う

入学以来、グローバルゾーン・ポर्ट（ポルト）を活用し、学内で国際交流を楽しんできました。1年次の後期には、先輩に勧められてLOFTアシスタントとしての活動をスタート。留学生チューターと学生のコミュニケーションをサポートする役割を担い、英語による日常会話やプレゼンテーションに繰り返し挑戦しました。おかげで実践的な英語力が身につく、海外からの留学生とも物怖じすることなく会話が楽しめるようになったと思います。台湾の留学生と出会ったのも、この場所でした。一緒に授業を受け、休み時間を過ごすうちに仲良くなり、その友情は今も続いています。2年次の夏には、台湾の大学でのサマーキャンプにも参加。第二外国語の中国語を学ぶモチベーションが高まり、台湾についてさらに深く知るために留学を決意しました。

海外の学生とオンラインで学び、 議論やプレゼンテーションを経験

ところが、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、3年次での台湾への交換留学は中止になってしまいました。楽しみにしていただけにがっかりしましたが、気持ちを切り替えて国際交流科目「ジャパニスタディーズ（Joint Seminar）」をオンライン受講することに。授業はすべて英語で行われ、協定校の学生とともに学びました。江戸時代の

自給自足生活をテーマに研究・発表し、アメリカやイギリスなど海外協定校のプログラム参加生とディスカッションを重ねた時間は、想像以上に有意義なものになりました。さらに、中断していたLOFTアシスタントの活動もオンライン形式で再開。先生と私たちアシスタントが一組になり、英語でプレゼンテーションをした後、参加学生たちと日常会話のやりとりを行っていました。実際に顔を合わせない分、参加者の発言を引き出す質問を心掛けたり、伝わりやすい表現を工夫したりとコミュニケーション力を養う機会になりました。LOFTアシスタント同士も綿密なミーティングを通じてチームワークが向上するなど、オンラインだからこそ成長も実感しています。

台湾の大学院で言語学を研究。 日英中のことばに通ずる人に

2021年も新型コロナウイルス感染症の流行は終息せず、4年次での交換留学も叶いませんでした。残念ですが、オンラインで国際交流活動を行いながら将来をじっくり考えることができたプラスに考えています。卒業後は、台湾の大学院に進学し、言語学を研究する予定です。この4年間、学科の専門的な授業とLOFTアシスタントとしての活動を通じて英語力をしっかりと養いました。台湾の大学院でさらに学びを深め、日本語を含む3言語をマスターして将来の土台を築きます。



経営学部 経営学科 4年次

はらだ りな

原田 莉奈さん

オンライン留学
ブリティッシュコロンビア大学
付属語学学校

文学部
英語英米文学科 4年次きつない まい
橘内 毎歌さん

国際交流科目
ジャパニスタディーズ
(Joint Seminar)
オンライン受講

「働く」を考える

変化していく就職することの価値観。
重要なのは、自らのキャリアについて、
主体的・能動的に考え行動すること

人生100年時代といわれる現代、大学生の就職活動や働くことの価値観は変化してきています。ここでは、統計などをもとに学生を採用する企業の視座から、今後、社会で「働く」ために重要な要因について解説します。



より良質な学生を求めて
企業からのアプローチが始まった

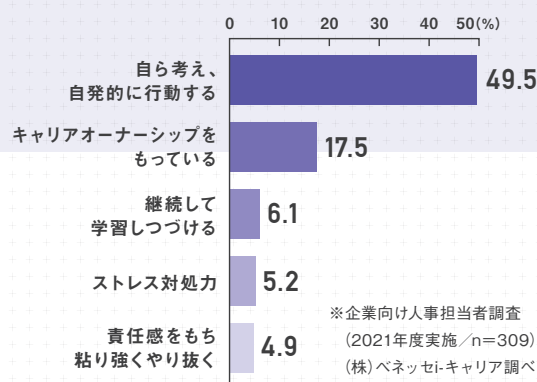
大学生の就職活動スタイルは年々様変わりしています。いわゆる「リクルーティングサイト」を通して、企業へ学生が応募（エントリー）し選考が進むというスタイルが、インターネットが普及して以来主流でした。しかしここ数年、「ダイレクトリクルーティング」の比率が高まってきています。ダイレクトリクルーティングとは、あらかじめ学生が登録している情報（学生時代の経験や所有スキルなど）を企業が見たうえで、学生に直接選考のオファーができるもので、これまで多くの学生の応募を待つカタチから、企業がアプローチできる攻めの採用ができるようになり、より自社の人材要件にマッチした学生の獲得が望めるものです。

そのことで、これまで企業が課題としてきた入社後のミスマッチを少なくできるとともに、より細かく学生の経験や能力を判

■企業採用担当へのアンケート

新卒採用で3～5年後に向けて、今後さらに重視する能力・スキル

●1～5位を回答、1位と回答した企業の割合（回答上位5つを抜粋）



企業が新卒採用で今後さらに重視する能力・スキルは「自ら考え、自発的に行動する」「キャリアオーナーシップをもっている」が上位を占めています。最近頻繁に耳にする「が上位を占めています。最近頻繁に耳にするキャリアオーナーシップとは、「自らのキャリアについて、どうしたいのか、どうしたいのかを主体的に考える」ことで、日本企業の特徴であった終身雇用はもはや影を潜め、これまで社員のキャリアは企業がつくってくるといった風潮から、キャリアは個人が形成していくものになってきています。長い人生のビジョンを描き、自分にとって「働く」とはどういうことを考えたうえで、一つの通過点である就職と向き合う必要があるのです。

2020年初めからの新型コロナウイルスの感染拡大は、採用や就職活動に変化をもたらしました。コロナ禍の影響を受け採用を取りやめる企業、逆に影響を追い風に採用意欲を高める企業など明暗が分かれたことはもとより、リモートでのインタビューや面接選考が進みました。また、短期間でリモートワークが浸透したことによって、働き方も各々の成果や能力が問われる傾向が高まりました。これからは、たとえ企業や組織に所属しても、自立して「働く」と向き合う必要性が問われるでしょう。

メディアムサイズの大学だから
一人ひとりを丁寧に支えられる

本学では、学生のみなさんが大学時代に身につけた専門知識や経験を生かして自分始めず仕事に就き、充実した人生を送れるよう一人ひとりの個性を尊重した進路指導を行っています。個別相談に力を入れると同時に、進捗の気になる学生に対しては電話で直接話を聞いてフォローするなど、メディアムサイズの大学だからこそできる細やかな支援を実践してきました。

さらに「なりたい自分」をじっくりと見つめ、進路実現に向けた準備を進められるよう、1年次から4年次まで継続してキャリアデザインサポートを実施。正課の授業であるキャリアデザイン系専門教育科目や法律・会計・財務・ITリテラシー・ビジネス英語など多様な科目群からなる「キャリア創生共通科目」と合わせて、将来を見据えた確かな「社会人力」を養うことができます。公務員志望の学生については、民間の予備校と提携した公務員試験対策講座を用意。さらに出身地など地方での就職をめざすU・Iターン志望者についても各地域と就職支援協定を結び、ガイダンスから個別相談まで丁寧にサポートします。

進路把握率

99.6%

進路把握者数 2,092人 / 卒業生数 2,101人
2021年3月実績

就職率*

97.0%

2020年度卒業生

オンライン化を迅速に進め、流動化する就職活動に対応する
コロナ禍を受けてオンライン相談を導入するとともに学生の要望に応じてオンラインでの面接練習もいち早くスタートさせました。就職活動をめぐる2018年の経団連による「採用選考に関する指針」の廃止以来、開始時期の流動化が進んでいます。この変化に対応するため、インタビューシートのエンタリーシート作成講座や面接対策を前期にも実施するなど新たな試みをスタートさせました。また、キャリアガイダンスをはじめとした各種対策セミナーの動画を本学のポータルサイトにアップし、必要な人が必要な時に学べる環境も整備しました。

各々の個性と時代の変化をふまえ、
十人十色の未来を支援する
「甲南大学キャリアセンター」
コロナ禍によって混乱を余儀なくされた就職活動においても、さまざまな進路を選択する学生のサポートや個々のニーズに応じた支援を続ける甲南大学。その支援と未来を見据えた現状についてキャリアセンターに聞きました。

キャリア支援プログラム開催数と参加人数(年間)

開催数 参加人数
年間 170プログラム 延べ 8,275人
2021年3月実績



オンライン面談や感染対策を講じ、対面による個別相談も実施

かねてより本学は地元企業からの信頼が厚く、同窓会組織の規模と絆の強さで知られています。実際に「OB・OG懇談会」をきっかけに最適な進路を得た学生も少なくありません。このように各界で活躍する先輩方とのネットワークも甲南大生の未来を支える大きな強みです。今後も、私どもキャリアセンターは、コロナ禍で進路に悩む現役生を個別に支援するとともに、就職活動を継続する卒業生のサポートにも一層力を入れ、「なりたい自分」を手に入れるための歩みを全力で支えてまいります。

※「就職率」は就職希望者に占める就職者の割合を指し、就職者数を就職希望者で除したものとします。

※「就職希望者」は卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者で、卒業後の進路として「進学」「家事手伝い」「資格取得」などを希望する者を含みません。

専門性と語学力を生かし、世界的なコンサルティングファームへ

を生かせる領域の幅広さに改めて気づきました。そこでゲーム開発企業だけでなくIT関連企業から電機メーカーまで視野を広げて就職活動を展開することに。内定先の総合コンサルティングファームは、世界120か国以上の企業を顧客にもつ多国籍企業です。グローバルな環境で先端テクノロジーに関する知識を生かし、IoT（モノのインターネット）やAR（拡張現実）、ブロックチェーンなどビジネスにおける最前線の課題に取り組める仕事に大きなやりがいと面白さを感じて就職を決意しました。

多言語コミュニケーション力と先端テクノロジーの知識を強みに

採用試験においては、プログラミングスキルなどのテストで高得点を出すなど学部における学びの成果を実感しました。現在も、「Open House（人物の骨格をディープラーニングで推定するシステム）において姿勢推定の精度を上げるには」をテーマに卒業研究を進め、さらに専門性を高めています。キャリア関連の授業、「キャリアデザイン基礎（2年次）」や全学部の学生が受講できる「プラクティカル・キャリアデザイン（3年次）」などでグループワークを体験したことがオンラインでのディスカッションや面接に、大変役立ちました。卒業後は、日本語とウルドゥー語（インドの主要言語の一つ）に加え、TOEFLスコア895点の英語力をさらに磨いて、グローバルなコミュニケーション力を備えたデジタルコンサルタントとして活躍したいと思います。

活躍できる領域の幅広さを知り、ゲーム開発から他業種へ

ゲームエンジニアをめざしていましたが、企業研究を進めるうちに知能情報学部



アクセンチュア株式会社
内定

知能情報学部
知能情報学科 4年次

トラバリー

寅巴里 アーディルさん

就職活動のプロセス

3年次の夏休みからゲーム開発企業を中心に企業研究を開始し、インターンシップを申し込む。翌年、内定先企業に興味を持ち、エントリーシート提出、オンライン面接を経て内定を得る。

自分の強みを知り、就職活動に。オンライン面接も自然体で

迷いを自信に変えてくれたキャリアセンターの親身なサポート

就職活動を意識し始めたのは、3年次の4月。暮らしの安心を支える仕事に就きたいという思いがコロナ禍によってさらに強まり、生命保険会社を中心に企業研究を始めました。夏ごろからは、銀行やクレジット会社なども加えて10社ほどのインターンシップを体験。ほぼすべてオンライン形式でしたが、仕事の実際を理解する貴重な機会になりました。キャリアセンターに通い始めたのもこのころです。最も印象に残っているのは、自分の強みがわからず悩んでいたときに、「あなたの強みは、責任感だと思う」とアドバイスしてくださったことです。漠然と自覚していたことを明確に指摘していただき、迷いがなくなりました。エントリーシートも丁寧に添削してくださり、自信をもって就職活動に臨めたと感謝しています。

卒業後は損害保険会社へ。企業の一員として責任を果たしたい

コロナ禍のステイホーム期間は、自分を見つめて将来の方向性を考える貴重な機会でした。内定先への就職を決めたのは、損害保険のカバーする領域の広さと個性を発揮できる社風に魅力を感じたから。甲南学園の創立者である平先生ゆかりの歴史ある企業で働けることも光栄に思っています。選考はほぼオンラインでしたが、面接対策講座やキャリアセンターの個人面接練習のおかげで、まったく緊張せず自然体で臨むことができました。就職後は、ジヨブロー

ーションを通じて幅広い業務を経験し、企業の一員としての責任を果たすことが目標です。そのためにも在学中にファイナンシャルプランナーの資格取得に向けた勉強とコンピュータスキルの向上に取り組みたいです。

東京海上日動火災保険株式会社 内定

法学部 法学科 4年次

ふじい ゆうか

藤井 佑香さん

就職活動のプロセス

3年次の8月から約10社のインターンシップに参加。キャリアセンター主催の「OB・OG懇談会」にオンライン参加し、就職活動のアドバイスを得る。

夢をカタチに。日本酒の魅力伝えるために「起業」の道を選ぶ

した。甲南に進学後、酒蔵の並ぶ灘五郷を歩いたときは、故郷の風景を思い出して懐かしく思ったほどです。就職活動をスタートした際は、視野を広げるために酒造メーカーや不動産など複数のインターンシップに参加。現場の実感を学んだおかげで「日本酒の魅力を多くの人に伝える『日本酒バー』を創る」という目標が明確になり、両親にも理解を得ることができました。ラーニングアシスタントを務めた「ベシック・キャリアデザイン」の先生が、第一線で活躍する卒業生を紹介してくださるなど常に応援していただいていることも励みになっています。

蔵人として酒造りを一から体験。貴重な学びを将来のアイデアに

卒業後の方向性を決めた2か月後、『甲南大学日本酒研究会』を設立しました。翌2020年には、大学から任意団体として認められ、本格的な活動を開始。新型コロナウイルスの感染拡大によってSNS中心の活動になりましたが、オンラインで出会った東京農業・横浜国立・中央・明治・一橋・名城大の学生とともに全国学生日本酒連盟を発足し、今では17団体にまで広がりました。また同年10月から剣菱酒造の魚崎蔵に半年間住み込み、蔵人として酒造りを一から体験したことも大きな自信につながっています。日本酒ソムリエである咧酒（きき酒）師に続き、現在は、チーズコーディネーターの資格取得にも挑戦中。誰もがカフェのように気楽に立ち寄ることができ、その魅力に触れられる「日本酒バー」を創る…、その日に向けて一歩ずつ着実に進んでいます。

未来への道は一つじゃない。先生方の理解と応援も励みに

日本酒の三大産地の一つ、広島県東広島市西条に生まれ、日本酒を身近に感じて育ちま



起業のために準備中

法学部 法学科 4年次

やまさき ゆうすけ

山崎 友輔さん

起業に向けてのプロセス

3年次のインターンシップ後、将来の方針を転換。学内の研究会や全国学生日本酒連盟の設立を通じて大学生の日本酒ファンを組織し、酒蔵での蔵人にも挑戦するなど「起業」に向けた土台づくりに力を入れる。



「大人が守ってくれる」

その安心感が子どもの発達を支えます

コロナ禍で進む子育て家庭の孤立や育児不安など、親子をめぐるさまざまな課題が浮き彫りになる中、「アタッチメント」の重要性が注目を集めています。幼いころに養育者との間で安全・安心を得る関係性を育むことが人格形成の基盤になる、という発達心理学の理論です。この理論に基づき、子育て支援の実践研究に取り組んでいる文学部の北川恵教授にお話を伺いました。



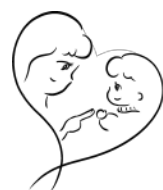
アタッチメントは食欲と同様人間の基本的な欲求です

第二次世界大戦後、戦争孤児について調査していたイギリスの児童精神科医ジョン・ボウルビイは、あることに着目します。子どもの健全な育ちには、衣食住だけでなく、養育者との関係性が不可欠だと。空腹や睡眠などの生理的な欲求と同様に、養育者との絆が重要であることが、それを剥奪された子どもたちの様子から明らかにになりました。特に、危機的場面で、特定の他者に近接し、安全・安心を得ようとすることをボウルビイは「アタッチメント」（直訳すると「付着、くっつく」と呼び、生涯にわたる欲求であると同時に、危機への対処能力



が限定された乳幼児期に特に重要な欲求であると考えました。

進化の過程で見ても、人間の脳は大きく、「二足歩行によって産道が狭いため生理的早産で生まれてきます。未熟な乳児が天敵に見つかれば生存不可能であり、危機的な状況に陥ると、強く大きな存在へくっついて安全と安心を得たいという欲求が組み込まれている、それがアタッチメントだとボウルビイは指摘しました。必要な時は安全・安心を与えてくれる人がいると思えるから、自分でいろんな挑戦や活動をし、自立に向かうことができます。つまり子どもにとって養育者は、「安心の基地」であり「安全な避難所」なのです。



強く頼れる大人は母親である必要はありません

アタッチメント理論が日本に入ってきた際に、「アタッチメント」は「愛着」と訳され、母子関係の理論として紹介されました。そうした影響もあってか、いくつかの誤解があります。

1つは愛情との混同です。アタッチメントは、養育者が笑顔で優しいことばをかけることではありません。大好き・楽しいといったプラスの感情がアタッチメントではなく、不安や恐れなどのマイナスの感情を整えて落ち着かせることです。

2つ目の誤解は、スキンシップとイコールとみなすことです。子どもに安全・安心を与



文学部 人間科学科 教授
北川 恵 キタガワ メグミ

京都大学教育学部卒業。京都大学大学院教育学研究科臨床教育学専攻修士課程・博士後期課程修了。京都大学博士(教育学)。四天王寺国際仏教大学(現四天王大学)を経て2008年より甲南大学。2021年4月より副学長。公認心理師、臨床心理士、Circle of Security Parenting[®]トレーナー。自身もアタッチメント理論を支えに、保育士などの周囲の人たちの協力を得て子育てと仕事の両立を図ってきた。

えることがアタッチメントのゴールで、スキ

ンシップは一つの手段です。泣いている子どもに「怖かったね、大丈夫だよ」とことばをかけるなど、不安な気持ちに寄り添うかわりがアタッチメントに込める本質です。

3つ目は、母親でなくてはならないと考えることです。強くて大きな大人が守ってく

れるという見通しを子どもがもてるのが大切で、父親、祖父母、保育園や幼稚園の先生もアタッチメントの対象です。人間の赤

ちやんは他の動物より未熟で、育てるのに手がかかります。大人になるまでの時間も長く、複数の子どもを育てるにあたり、

複数の大人が子育てにかかわる環境で人間は生存してきたと考えられています。複数の養育者がいると、子どもは複数の安全

基地を得ることができます。実際、複数の養育者それぞれと安心できるアタッチメント関係をもち子どもは発達しやすいというデータもあります。保育園に子どもを預けて働くことに罪悪感をもつお母さんはいま

すが、そうする必要はまったくありません。また、アタッチメントは人が生涯もっている欲求です。幼いころのアタッチメントは重要ですが、決定的ではありません。いつでもやり直しがきます。

親子関係支援が学生のキャリア形成にも好影響

より良いアタッチメントを築くための親子関係支援プログラムが開発され、その一つがCOS(The Circle of Security Program)です。2006年に国際学会で



COSを知り、翌年アメリカでトレーニングを受け、国内でいち早くプログラムを実践。2009年度から本学の人間科学研究所で、通称「親子がホッとつながるグループ」として、地域の親子を対象にCOSを行っています。2012年度には、地域で実践しやすいように設計されたCOSP(The Circle of Security Parenting Program)の日本語版「安心感の輪」子育てプログラムを作成し、実践と効果研究も行っています。エビデンスのあるプログラムの提供で地域に貢献し、学生の参加で教育と連動させる、大学ならではの子育て支援だと考えています。

グループでは、心理教育と親子の動画を視聴しながら、自分たちの経験を話し合い、子どもの気持ちへの理解を深めます。ファシリテーターが親の安心基地になり、親自身が「つい繰り返してしまいかかわり」を乗り越えることを応援します。参加者からは「ママ友とは話せない、しんどい気持ちを話せた」「子どもを変えることは難しいけれど自分の行動は変えられるし、親子関係が変わった」といった声をいただいています。コロナ禍の現在はオンラインで活動しています。最近は育休中の親の参加も増えています。

学生にも変化が見られます。2018年度からは授業に位置づけ、学部生が参加。発達や親子関係を学ぶ場、また自身のキャリアや将来設計を考える機会にもなっています。「子どもはかわいいけど、大変」「お母さんはこんなに子どものことを考えているんだ」といった気づきや、「改めて親に感謝しました」といった声もあります。大学生の年代で乳幼児と保護者にかかわる意

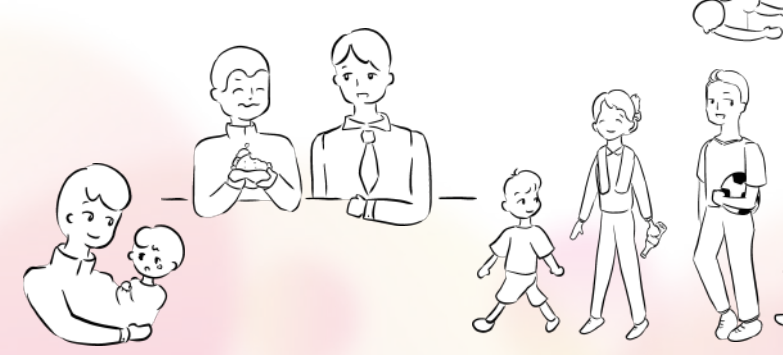
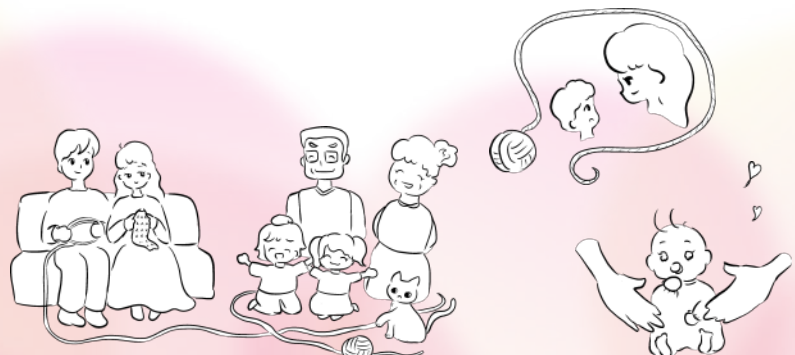
味の大きさ、そして学生が社会人の先輩であるお母さんの経験を聞かせてもらう場面など、異世代交流の重要性を感じます。

アタッチメント構築は文化に応じて、自分らしいやり方で

「安心感の輪」子育てプログラムを実施できるファシリテーター育成にも取り組んでいます。地域での子育て支援、児童養護施設などの職員、家庭裁判所などの司法関係者、疾患や障がいのある子どもたちの家族支援に携わる医療関係者たちが全国でプログラムを実施しています。私たちが出会える限られた親子だけでなく、多様な現場の方がアタッチメントの視点を家族に届けてくれます。

親子関係は非常に強い感情が動き、親自身の経験に基づく葛藤もあって気持ち揺れることがよくあります。親子を支援する人たちの気持ちも揺れます。支援者のサポートも含めた親子関係支援は、重要な社会課題です。

また、アタッチメントは世界共通ですが、子育てには文化差がありますし、また、子どもや養育者の個性に応じて、さまざまなやり方で安心感を満たすことができますと考えられます。欧米の知見から学ぶことが多いですが、日本での実証研究を重ね、世界へ発信していくことを今後の目標の一つとしています。



新サイト
「KONAN-PLANET」にも
北川教授の関連記事を掲載しています。
ぜひこちらもご覧ください。





人と社会に笑顔を。
走った軌跡でアートを描き、思いを届ける

プロGPSランナーの 夢と挑戦。

GPSランナーのプロとして活躍する志水直樹さん。GPSランとは、ランニングアプリのGPSトラッキング機能(走った軌跡が記録される機能)を用い、文字や絵を地図上に描いていくこと。その作品は「ランニングアート」や「GPSアート」などと呼ばれ注目を集めています。「RUN FOR SMILE!」をテーマに繰り広げられる活動には、どのような思いが込められているのか。今日までの歩みや今後の目標についても伺いました。

西宮神社「福男」の日、 アイデアは、舞い降りた

志水さんは、小学校の教諭からプロGPSランナーへと転身した。人生を大きく変える決断の背景には、どんな出来事があったのだろうか。「特別支援学級で脳性まひの子どもの担当したことが契機になりました。その子の好きなタブレットを使って一緒にスポーツを楽しむことはできないか。インクルーシブスポーツ(障がいの有無に関係なく多様な人々が参加できるスポーツ)の可能性を真剣に考えるようになったのです」。アイデアがひらめいたのは、思わぬ場所だった。「2016年、西宮神社の開門神事「福男」の列に並んでいたときのことです。マップアプリで最短ルートをたどっていたら、『西』の文字になることに気づきました。そこでバレンタインデーにランニングアプリを使って『西宮 LOVE』と走って描き、SNSに投稿してみたら予想を超える反響が。これだ!と思いました。GPSランなら、障がいがある子どももスマホやタブレットで参加できる。教育や福祉の現場にスポーツの楽しさを持ち込めると直感した瞬間だった。例えば、小学校教諭への道も型破りだった。大学卒業後、建設コンサルタント会社勤務を経て小学校支援員に。その傍ら通信制大学で教員免許を取得し、2013年、西宮市の小学校教諭へ。あまりにも遠回りに見える道のりだが、「最初から先生になるつもりで一般企業に就職しました。社会を知り、視野を広げてから教育の道に進みたかったのだ」とごく当たり前のよう笑顔で語る。

国境を超える力を確信。 プロGPSランナーへ

台湾での経験もGPSランナーへの転身を後押しした。東日本大震災の翌年から南三陸町でボランティア活動が続けてきた志水さんは、2018年2月、台湾花蓮市で大地震が発生したことを知るや否や、現地へ。かつてリアス式海岸沿いを200km走った際、東北の人たちが口々に語っていた台湾の人々への感謝を伝えるためだ。『日本♡台湾』『花蓮加油(がんばれー)』と描きながら走りました。その年末にも再訪し、GPSメッセージを描いた旗を自転車にくくりつけて台湾1周約1000キロを走破したんです。この様子は複数のメディアに取り上げられ、被災地花蓮市長との台日友好会見が実現するまでになった。「帰国後もスマホが鳴りやまないほど取材が続きました。多くの人々がこんな形で思いがつながるなんて感動した」と言ってくださり、GPSランには、国境を超える力があると確信しました。2019年3月、志水さんは惜しまれながら小学校を去る。その直後、adidas Runtasticから日本人初、公式アプリ『adidas RUNNING(旧Rutastic)』ワールドアンバサダーに世界22人のうちの一人



2018年花蓮地震の際は、現地に渡り「日本♡台湾」を描いた。

コロナ禍でも楽しめる！ 可能性にメディアが注目

だが、想定外の事態が起きる。新型コロナウイルス感染症の拡大だ。「予定されていたイベントの中止が続きました。マスクをつけて走る危険性も指摘されるなど、ランニングを楽しむことが難しい状況になってしまったんです。そこでGPSウォーキングやGPSプロギング(ゴミ拾い)など走らなくてもスポーツとアート、さらにはSDGsにも取り組める仕組みを考えました」。その活動に多くのメディアが注目する。各局の情報番組で取り上げられたほか、番組のコンテンツ監修を務めるなどテレビ出演が相次いだ。「企業や自治体の方から『多様な人々がコロナ禍でも楽しめるスポーツを』というオファーが増えました」。コロナ禍という状況下でも、志水さんは複数の企業、自治体、大学などとコラボレーションを重ね、実績を築いていく。また、型にとられな



志水さんがランニングし描いた「甲南」の文字。どの作品も一筆書きだ。

大学で留学生と交流。 企画・行動力も養った日々

常に挑戦を続ける生き方は、どこで身につけたのだろう。「原点は、イギリスで過ごした子ども時代です。わずか2年ほどでしたが異文化の中で過ごす寂しさや楽しさを味わいました。大学で児童労働やフェアトレードなど世界の現実を学び、留学生が集うあじさいのーむで異文化交流をした経験も問題意識を深めてくれたと思います。友人とフットサルサークルを立ち上げて近隣大学とリーグ戦を開催するなど企画・行動力も養いました。今も、自らをランナーであると同時に教育者だと語る志水さん。「環境問題やコミュニティの活性化、高齢者の健康維持など、さまざまな社会問題を楽しみながら解決する仕組みをつくりたいと思います。『競わないスポーツ』だからこそ可能な出会いや交流の喜びを多くの人々に伝えたいですね」。RUN FOR SMILE! 笑顔の先に健やかな社会を見つめて志水さんは人生という道を走り続ける。



PROFILE
プロGPSランナー 志水 直樹さん

2009年、文学部歴史文化学科卒業。小学校教諭を経てプロGPSランナーへ。メッセージや絵などを走って描く「RUN FOR SMILE!」活動が評価され、自治体・企業などとのコラボイベント多数。2021年、アジア競技大会(Asian Games Aichi-Nagoya 2026)公式イベントのコーディネーターに就任するなど活躍の場を広げている。

プロGPSランナー
しみず なおき
志水 直樹 さん

新サイト
「KONAN-PLANET」にも
志水さんの関連記事を掲載しています。
ぜひこちらもご覧ください。



兵庫県高等学校総合体育大会馬術競技団体優勝

苦境を乗り越え チームワークで手にした 5年ぶりの団体優勝

トップバッターの勢い
そのままに優勝まで疾走

5月18日、第65回兵庫県高等学校総合体育大会馬術競技が行われ、石田律貴さん、東海最さん、堀木田結終さん、池畑雅仁さんが臨んだ団体戦において、見事優勝を果たしました。新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度の同大会は中止になっており、今年度も実施が危ぶまれましたが、人数制限などの感染症対策を施した上で無事開催されました。

この大会は障害飛越で争う馬術団体競技です。当日はトップバッターの東海さんが、すべての障害をクリアし減点ゼロ、出場選手中最速で戻り幸先のよいスタートを切りました。その勢いそのままに、続くメンバーもミスを最小限に抑えた堅実な騎乗で、ライバル校との競り合いを制しました。これまで、メンバーがそろわず出場を断念した年もありましたが、それを乗り越え兵庫県大会では5年ぶりの栄冠。記録が残る

限り最多27度の団体優勝を誇る名門です。

団体全国大会出場を逃すも
個人戦で全国大会へ

その後、6月に行われた第32回全日本高等学校馬術選手権大会近畿地区予選会を兼ねた「第55回全日本高等学校馬術競技大会」では、団体での全国大会への出場権を逃しました。しかし、同時開催された個人戦「第32回全日本高等学校馬術選手権大会」において、東海さんが北海道苫小牧市で開催される全国大会への出場権を手にしました。

馬術部の部員数は、現在は高校、中学校の生徒を合わせて15人。今回は惜しくも団体戦での全国大会出場を逃しましたが、メンバーたちにはインターハイ出場という次の目標が待っています。再び、全国制覇に向けての挑戦が始まっています。「常勝軍団になろう」を合い言葉にメンバーが結束し、日々切磋琢磨しています。



いしだ りつき
三年E組 石田 律貴さん
限られた練習時間の中で監督、コーチからいただいた的確な指導や部員間でのハイレベルな競争が今回の結果につながりました。



あずみ かなめ
二年B組 東海 最さん
チーム一丸となって勝利をつかんだ試合でした。良い結果を残しましたが、課題も残ったため練習を重ね成長したいと思います。



ほりきた ゆいと
二年A組 堀木田 結終さん
夏から英国に長期留学の予定です。勉強はもちろん本場である英国で乗馬を体験し、今後の人生に生かしたいと考えています。



いけはた まさひと
二年A組 池畑 雅仁さん
試合当日はチームを全力でサポートすることだけを考え行動しました。次はインターハイに出場し全国制覇をめざします。



甲南リサーチフェア

生徒が自主的に探究した成果を発表

自分で調べて仮説を立て、 人に説明し、 人から評価され、 改善していく

身近な社会課題に関心をもち
自分の視点で探究する

グローバル・スタディ・プログラムを履修する生徒が取り組んできた課題研究の成果を、プレゼンテーションやポスターセッションなどで発表する「甲南リサーチフェア」が、2020年12月19日に開催されました。発表を通して、研究の進め方や効果的な発表方法などを学び、身につけられると同時に、社会の身近な課題に関心をもちつなぐ機会になります。また、高三生は研究発表だけではなく、会全体の運営や統括を体験し、計画力や協力し合う力などを養う機会になりました。

リサーチフェアは3回目の開催を数えますが、生徒たちの研究成果は校内にとどまらず、これまでに文部科学省の支援事業である「SGH※1甲子園」本選出場や「IBL※2ユースカンファレンス」金賞、「甲南大学リサーチフェスタ」学長賞受賞など、外部のコンクールにおいても評価されています。

※1 Super Global High school
※2 Inquiry-based learning 探究的な学習

研究を客観視し
自主学習の習慣を育む

リサーチフェアは、単に成果を発表するだけではなく、自らの研究内容を客観視することも重要な目的です。そのため教員だけでなく、外部講師をお招きし、非日常の環境に身を置いて、より客観的なご意見やアドバイスをいただいています。そうすることで、テーマ研究をさらに深めていく指針が見え、その学びが最終的には大学での自主的な学習姿勢や習慣につながります。リサーチ授業の担当である中原敦教諭

は、「探究課題に関して、フィールドワークを設定し、アポイントメントを取ってインタビューを実施するなど、自分ですべてを行うことで着実に主体的学習の姿勢が育まれています。テーマの背景的情報を調べ教員と問答する中で、的確な問いにすることができる生徒が増えており、2万字程度の論文も書けるように成長しています」と甲南リサーチフェアを通して探究学習推進への手応えを話し、さらに、「リサーチフェアで発表することが、カリキュラムの要としてうまく機能しています。生徒は大舞台だからベストの発表をしたと努力します。また、上級生の発表を下級生がみるという仕掛けも効果的で、グローバル・スタディ・プログラムという、学びの共同体の背骨になっています」と付け加えます。

【生徒が取り組んだテーマ】

高二

SDGsに関連した自由なテーマを街づくり、経済、環境、多文化共生、働き方、教育の6つの分科会にて発表

高一

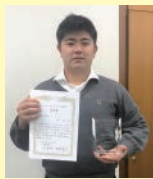
「コロナと〇〇」を切り口に、各々が自由に設定した課題をポスターにまとめて発表

探究的な学習を通して育成する力

- ・問いをつくる力(課題発見力)
- ・社会課題を自分ごととして考えることのできる力
- ・論理的に考える力
- ・表現する力
- ・主体的に行動する力

Close Up

高校生と大学生・院生が交じり合って自分たちの研究や活動について、発表・議論する文理融合のイベント



ト「甲南大学リサーチフェスタ」が、2020年12月20日に開催され、甲南高校三年生の山下昂太さんが「甲南大学学長賞」を受賞しました。受賞テーマは、「鳥獣被害が現代社会に及ぼす影響と対策 ～三重県伊賀市が「若者と企業の拠点」となるために～」。同フェスタは、4府県35校から701人の高校生が参加しオンライン形式で開催されました。



KONAN-PLANETサイトオープン！

学園創立記念日である4月21日に、「甲南から『世界』をおもしろく」をコンセプトにしたWebサイト「KONAN-PLANET」がオープンしました。研究者、教員の視点を通じて世の中の気になる話題を紹介するコンテンツやさまざまな分野で活躍する学生・卒業生などを紹介した記事を随時アップしています。また、KONAN-PLANET会員も募集しており、特典として毎月21日にメールマガジンをお届けするほか、すてきなプレゼント企画にもご応募いただけます。会員登録は本学にご興味のある方であれば、どなたでも可能です。

母校とのつながりや新たな学びの機会をもちたい方、甲南のことがもっと知りたい方など、ぜひサイトに遊びに来てください。



甲南大学同窓会 10月24日(日)「オール甲南の集い」を オンラインで開催します

新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見えない日々が続きます。甲南学園との共催による恒例の「オール甲南の集い」は昨年、初めてオンライン配信によるWebイベントとして開催しました。試行錯誤の中の実施でしたが、世界中の同窓生と双方向でつながり、毎年、岡本キャンパスに行きたくても行けないという多くの同窓生から「ホームカミングが楽しめた」と、好評をいただきました。コロナ禍で得た新たな絆を大切に育んでいきたいと思ひます。

甲南大学同窓会では今年度、コロナ禍の収束を期待しつつ、2年ぶりに集う形でも計画していましたが、事態の好転が見込めず、昨年に続きWeb開催といたしました。10月24日(日)、岡本キャンパス甲友会館からライブ配信する予定です。

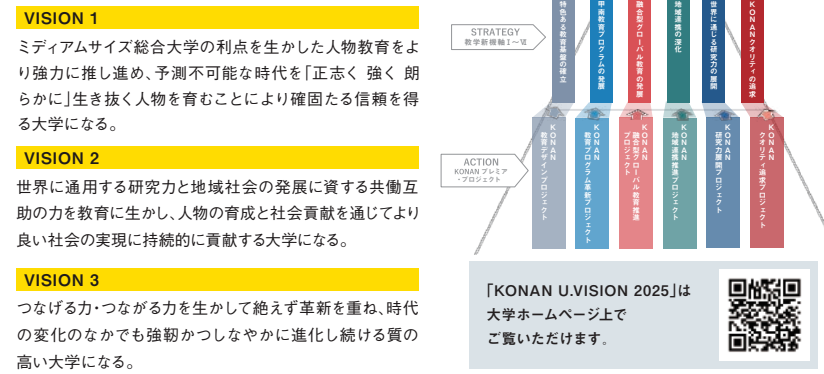
基調講演は「コロナ禍」と「東京オリンピック・パラリンピック」をテーマに、公益財団法人甲南会 甲南医療センターでコロナ禍の最前線に立って市民の命を守り続けてきた感染管理認定看護師の松本悠子さん、卒業生で大阪経済大学人間科学部 学部長・教授の半田裕さん(S54法卒)を講師にお招きします。スペシャルゲストのコーナーには、今年もすてきなアーティストをお招きする予定です。

詳細は、決まり次第大学同窓会ホームページでお知らせいたします。多くの甲南ファミリーのご参加をお待ちしております。

甲南新世紀ビジョン “KONAN U.VISION 2025”がスタート

本学は人物教育率先の理念のもと、教育の質の一段の向上をめざすため、「甲南新世紀ビジョン」を定めました。2016年より始動した「KONAN U.VISION 2020」が、完成年度を迎えたことを受け、成果の継承・発展と新たな挑戦によって、さらなる進化をめざした「KONAN U.VISION 2025」を定め、中井学長のもと2021年4月より取り組みを開始しています。

「KONAN U.VISION 2025」の実現に向けて、基本方針および施策となる6つの教学新機軸を打ち立て、この機軸に沿って「KONANプレミア・プロジェクト」を再編しました。本学の創造力、融合力、総合力を最大限に生かしながら、全学を挙げてビジョンの実現に取り組みます。



プログラム

2021年 **10月24日(日)** 13:00～16:00(予定)

1 甲南学園理事長、甲南大学学長、大学同窓会会長の挨拶

2 オンラインでつながる世界の同窓生「世界甲南会」

3 基調講演Ⅰ
「いのちを守るということ ～コロナ禍が教えてくれたこと～」
公益財団法人甲南会 甲南医療センター感染対策室 看護師長 感染管理認定看護師 **松本 悠子**さん

基調講演Ⅱ
「日本のスポーツの未来 ～東京オリンピック・パラリンピック総括～」
大阪経済大学人間科学部 学部長・教授 **半田 裕**さん(S54法卒)

4 トーク&ライブ
すてきなアーティストを、決まり次第ホームページでご紹介

5 閉会の挨拶(大学同窓会副会長)

新型コロナウイルスワクチンの 職域接種を実施

新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重病者の発生をできる限り減らすため、政府および兵庫県から新型コロナワクチン接種が推奨されています。この状況に鑑み、本学は甲南医療センター、神戸薬科大学、甲南女子大学、東灘区役所の協力のもと、「東灘コンソーシアムワクチン接種協議会」を立ち上げ、ワクチン(武田薬品／モデルナ社)の職域接種を7月12日より共同で実施しました。甲南医療センターは医師・看護師の派遣、神戸薬科大学は薬剤師の派遣、甲南女子大学は看護師の派遣、東灘区役所は各種手続の支援、そして本学は看護師の派遣、事務局の設置、接種会場の提供、会場運営を担当し、それぞれが役割を果たすとともに、円滑な運営体制を構築しました。今回の接種対象は3大学の学生や教職員を中心として行いましたが、神戸国際大学など近隣大学の学生や教職員、東灘区内の小・中・高校の教職員なども対象に加え、大学拠点接種の重要な役割である地域貢献を果たすことができました。なお、本学学生は約53%が2回の接種を完了しています。

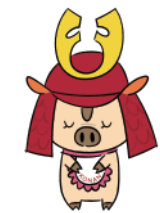
なお、ワクチン接種に際しては個々の事情を考慮し、任意であるということ、接種しないことでの不利益を被ることは絶対にないことをあらかじめ周知し実施しています。



令和3年度神戸市 ふるさと納税 「KOBE学生サポート」 へのご支援のお願い

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける学生を支援するため、神戸市へのふるさと納税の仕組みを活用し、寄付を募集する「KOBE学生サポート 市内大学等応援助成」に参画することとなりました。神戸市にふるさと納税をしていただく際に、本学をご指定いただくと、納税額から返礼品の経費を差し引いた7割(昨年度は9割)を本学の学生支援に活用させていただきます。

今年度にみなさまからいただきましたご寄附は大学施設での職域によるワクチン接種や学修支援などの事業に充当させていただきます。新型コロナウイルスに負けず、がんばっている学生を応援するために、ご支援賜りますようお願いいたします。



令和3年度入学宣誓式を挙

4月1日、岡本キャンパス講堂兼体育館において入学宣誓式を挙し、2,101名の学部生および65名の大学院生が甲南での生活をスタートさせました。昨年度は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、新入生のみなさんをお迎えするため、感染対策を万全に取りながら3部制での実施としました。当日は対面での式典参加は新入生本人のみとし、ご父母・保護者のみなさまにはYouTubeにてライブ配信を行い、自宅などでご視聴いただく環境を整えました。

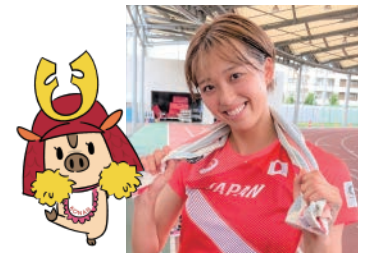
中井学長から新入生に向けた式辞で、「甲南大学という学びの場を存分に活用しながら、さまざまな知識や考え方と出会い、時にはその難しさに苦しみもがくこともあるかもしれないが、思考を深める学びを経験してほしい」とメッセージを伝えました。



現役生初! 東京五輪・陸上女子 4×100mリレーに青山華依さんが出場

8月5日(木)、国立競技場で行われた東京五輪・陸上女子4×100mリレー予選に体育会女子陸上競技部の青山華依(はなえ)さん(営1)が出場しました。第一走者として「前半からしっかりと逃げて次につなげたい」と話していた青山さんは、そのことば通り力強い走りでバトンをつなぎました。結果は43秒44と残念ながら1組7着となりましたが、日本記録(43秒39)に迫る記録でした。青山選手は「この舞台に立てたのは、大会関係者の方や私の周りの方々のおかげだと思う。初めて出場したが、楽しく走れたと思う。自分の走りにも納得しているし、うれしい」と大舞台での感想を述べました。

惜しくも予選敗退となりましたが、現役の甲南大生で史上初めて五輪代表選手となった青山さんの堂々たる走りは私たちを勇気づけてくれました。これからの青山さんの活躍にぜひご注目ください。



サッカー部の井上聖也さん(営4) アビスパ福岡への加入が内定

体育会サッカー部のDF井上聖也さん(営4)がJ1リーグに所属するプロサッカーチーム「アビスパ福岡」に加入することが内定しました。ファジアーノ岡山で活躍中の木村太哉さん(R3マネ卒)に続き、2年連続でJリーガーが誕生します。また日本サッカー協会(JFA)より、3月23日付で「2021年JFA・Jリーグ特別指定選手」に認定されています。これにより、井上さんは在学しながら2021年度のJリーグにも出場可能となりました。井上さんは187cmの恵まれた身長でヘディングの強さが持ち味。これからの井上さんの活躍に応援をよろしく願ひします。



2021年度

新任教職員紹介

[2021年4月1日現在]

よろしくお願いいたします！



文学部日本語日本文学科

野々口 ちとせ 准教授
2021年4月1日付
[専門分野] 日本語教育、言語生態学



理工学部物理学科

田中 孝明 准教授
2021年4月1日付
[専門分野] X線天文学、ガンマ線天文学、高エネルギー宇宙物理



理工学部物理学科

松田 洋平 准教授
2021年4月1日付
[専門分野] 自然科学一般、素粒子、原子核、宇宙線、宇宙物理に関する実験



法学部

三谷 宗一郎 准教授
2021年4月1日付
[専門分野] 行政学



国際言語文化センター

野村 和宏 教授
2021年4月1日付
[専門分野] 外国語教育



文学部人間科学科

池上 知子 特任教授
2021年4月1日付
[専門分野] 社会心理学



共通教育センター

長谷川 雄彦 特任教授
2021年4月1日付
[専門分野] 図書館情報学・人文社会情報学



高等学校・中学校

伊賀崎 真治 特任教諭
2021年4月1日付
[専門分野] 英語



高等学校・中学校

TANAKA Go
外国人英語担当契約教員
2021年4月1日付
[専門分野] 英語



高等学校・中学校

UNDERWOOD Sean
外国人英語担当契約教員
2021年4月1日付
[専門分野] 英語



教務部

森川 茜 専任職員
2021年4月1日付

2020年度

退任教職員紹介

[2021年4月30日現在]

長い間ありがとうございました



文学部英語英文文学科

大森 義彦 教授
2021年3月31日付



文学部日本語日本文学科

中島 孝幸 教授
2021年3月31日付



文学部人間科学科

木村 博 教授
2021年3月31日付



理工学部物理学科

梶野 文義 教授
2021年3月31日付



理工学部物理学科

宇都宮 弘章 教授
2021年3月31日付



理工学部物理学科

富永 望 教授
2021年3月31日付



マネジメント創造学部

佐藤 治正 教授
2021年3月31日付



経済学部

稲田 義久 教授
2021年3月31日付



法学部

平山 幹子 教授
2021年3月31日付



法学部

前嶋 京子 教授
2021年3月31日付



国際言語文化センター

津田 信男 教授
2021年3月31日付



法科大学院

園田 寿 教授
2021年3月31日付



文学部

赤瀬 美穂 特任教授
2021年3月31日付



文学部人間科学科

子安 増生 特任教授
2021年3月31日付



学長直属

西村 いくこ 特別客員教授
2021年3月31日付



高等学校・中学校

八田 登司 教諭
2021年3月31日付



高等学校・中学校

品川 信雄 教諭
2021年3月31日付



教務部

豊田 茂夫 専任職員
2021年3月31日付

このほか、

[アドミッションセンター]

松井 美帆 専任職員 も退職いたしました。
2021年4月30日付

甲南大学開学 70 周年記念

甲南、この学び舎70th - 未来に伝える、明日につなぐ -

1951年に開学した本学は文理学部にはじまり、8学部14学科を擁する総合大学へと発展しました。
2019年には学園創立100周年を迎え、甲南新世紀がスタートし、2021年は開学70周年にあたります。

本学が紡いできた伝統、取り組む教育や研究の姿を伝えるため、

2021年9月から2022年3月にかけて岡本キャンパスで、4つのイベントを開催します。

各イベントの申込などの詳細は、確定次第大学ホームページなどでお知らせします。

甲南、この学び舎70th 第4弾

Ⅰ 講演会

SDGsと日本の藝能文化

能楽囃子小鼓方大倉流十六世宗家 大倉源次郎氏 (S51高・56文卒、重要無形文化財保持者)

開催日 2022年 3月12日(土) 午後

70年は人であれば古希であり、「古来稀なり」と言われるお祝いの年です。そこで、能楽囃子小鼓方大倉流十六世宗家 大倉源次郎氏(重要無形文化財保持者)を講師に迎え、講演会を開催します。本学は文化・芸術の分野で数多くの卒業生が活躍しています。藝能文化・伝統文化に関心のある方は、ぜひご参加いただき、甲南の文化力に触れてください。



甲南、この学び舎70th 第3弾

Ⅰ 展示

パネルと映像による甲南 **開催日** 2022年 1月～3月

本学の特長や教育の実践を、文系・理系の学部生が作った2つの展示で紹介します。「甲南大学の学芸員養成課程」展では、文学部の学生が、博物館実習の成果や白鶴美術館でのワークショップについて展示します。「平生精神と甲南大学FIRST」展はフロンティアサイエンス学部の学生が、本学園を創立した平生釰三郎のスピリットを未来につなげることをテーマに展示します。学生の学びの成果を、ぜひご覧ください。

甲南、この学び舎70th 第1弾

Ⅰ 講演・体験講座等 大隅基礎科学創成財団主催・甲南大学併催

小中高生と最先端研究者との 触れ合いの集い

開催日 2021年 9月12日(日)

緊急事態宣言の発出に
ともない中止となりました

大隅基礎科学創成財団「ふれ合いの集い」を本学が共同で開催します。文理学部の時代から70年にわたり、基礎科学を重視するとともに中高生への科学教育にも継続して取り組んできた「甲南サイエンス」を、未来に伝え明日につなげます。2016年にノーベル生理学・医学賞を受賞した大隅良典氏と本学の西村いくこ名誉教授による講演や体験講座・科学相談・展示などを開催します。

甲南、この学び舎70th 第2弾

Ⅰ シンポジウム ポスト・コロナの博物館運営

開催日 2021年 10月2日(土) 14:00-16:00[開場13:30]

本学に博物館学芸員養成課程が設置されてから20周年を迎えます。博物館が新型コロナウイルス感染症のパンデミック(世界的大流行)の中で直面した問題や、見いだされた新たな可能性などを共有し、文系・理系の枠を超えて博物館がめざすべき未来や大学などの研究機関との協働の可能性について考えます。

登壇者 (50音順) 小野田一幸氏 神戸市立博物館学芸課長・学芸員
亀田佳代子氏 滋賀県立琵琶湖博物館上席総括学芸員(動物生態学)
島敦彦氏 国立国際美術館館長

問い合わせ先: 甲南大学 学長室 TEL: 078-435-2889 Email: o-president@adm.konan-u.ac.jp

※9月15日現在。一部中止または終了したイベントを含む。

「人生100年時代の学び」

履修証明プログラムがスタート

「人生100年時代の学び」プログラムの概要

本プログラムは学校教育法に基づく体系的な学びを行うために特別に編成された課程であり、修了者に対しては同法に基づく履修証明書を交付します。本プログラムは、1年間のプログラムとして4つのコースを開講しています。各コースとも、講義科目（選択必修4科目）とワークショップ（必修科目）で構成されています。講義科目は大学生と一緒に学びながら、ワークショップは本プログラムで学ぶ仲間と話し合いながら、新しい学びを体験してください。在宅勤務などで昼間の時間を自由に使える方、仕事をリタイアして次のステップをお考えの方、お子さんが成長して余裕ができた方、お一人でも、ご家族でも、お友だちでも、神戸岡本の静謐な環境の中で、もう一度ゆっくりと学びを深めてみませんか。

履修証明プログラムとは

履修証明プログラムは、学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条の規定に基づき、主に社会人を対象にした一定のまとまりのある学習プログラムです。その修了者に対しては、学校教育法に基づく履修証明書を交付します。 ※本プログラムは学校教育法に定められた履修証明プログラムに対応しています。

講義科目
(選択必修4科目)

甲南大学の
教員による
「ワークショップ」

プログラムの特徴となる「ワークショップ」では
大学生のゼミのように所属コースごとの担当教員やプログラムで
学ぶ仲間と話し合いながら学びを深めていただきます。

重ねた経験が、学びの源泉に。 新たな人生が動き出す、リカレント教育

甲南学園の創立者・平生鈺三郎が唱えた「人生三分論」。これは一生を「学びのとき」「仕事に励むとき」「社会奉仕のとき」に分けて考える人生哲学を意味します。大切なのは「社会奉仕のとき」。実は平生は最晩年に至るまで社会に貢献し続けた「生涯現役」の姿勢を貫きます。リカレント教育プログラム一期生のみなさんも、そんな生き方を実践する人たちです。その思いと日々の学びについて語っていただきました。



直感と好奇心に従い、 学びのチャンスをつかむ

——渡辺：本学のリカレント教育を知ったきっかけや出願の動機からお話しいただけますか。

山本さん：退職する直前、今後、やりたいことを思いつくまま書き出してみたんです。そしたら、あまり時間をかけずに終わってしまふことがわかってしまった。ちょうどそのころ、リカレント教育の存在を知りました。社会との接点をもちながら、じっくりと時間をかけて学び直せる点に魅力を感じましたね。

浅野さん：テレビや新聞で世界の新型コロナウイルス対策に触れると、国によって違いがあることに気づきました。なぜ、こんなに違うんだろう。歴史？国民性？と疑問に思っていたとき、本コースのテーマ「多文化共生、グローバル社会で生きる」を知りました。学びたいのはこれだ！と、すぐに出願を決めました。

岸田さん：実は大学からの友人で教授を務めていた伊豫田隆俊（元共通教育セン



やまもと つねみ
山本 恒美 さん

近隣在住。メーカー営業職として30年間勤務後、公的機関で中学・高校・大学生などの就職支援に携わる。今年3月末、10年間の勤務を終え、退職。



さかべ たけのり
阪部 剛規 さん

甲南大学卒業生。阪急岡本駅徒歩3分の場所でベジカフェ（八百屋併設のカフェ）を経営。新鮮野菜を使った「男の料理教室」など各種講座も手掛ける。

ター所長）が亡くなったことがきっかけでした。彼とは学生生活を共にし、その後半世紀近くにわたって親交を深めてきましたが、突然の出来事にショックを受けました。そんな時にリカレントプログラムの案内が届き、彼が私を「大学に来いよ！」と誘ってくれたんじゃないかなと思っ、ためらわずに申し込みました。

コースと科目を選び、 自分の興味を深掘り

——渡辺：どんな科目を受講されていますか。

山本さん：もう一度、就職支援の仕事をしてみたいと考えています。現役時代の人間関係や価値観から離れて学ぶうちに、約40年続けてきた仕事の意義を再発見することができました。現在学んでいる「マネジメント」という考え方を生かし、これまでとは異なるアプローチで就職支援に取り組んでみたいですね。

岸田さん：リカレントプログラムは、私たちにとつても、現役学生にとつても、そして先生方や大学にとつても、実り多いものになる気がしています。私自身は、若い世代のためにひと肌脱ぐことができる人間でありたいと思います。将来を担う世代をバックアップするにはどうすればいいか。そんな視点からキャリアを考えたいと思っています。

浅野さん：もっと多くの人にリカレント生の存在を知ってほしいですね。受験生のみなさんにも、どんなアピールしてくださいます。興味のある保護者の方が大勢いらっしゃるはずですが、「親子で通う甲南大学」なんていかがでしょう（笑）。

岸田さん：自然科学系コース「情報社会のしくみを知り、安全に暮らす」の「情報セキュリティ」「ITパスポート」と「社会を読み解く」を受講しています。趣味の登山でキリマンジャロに登頂した際、アフリカ奥地の人々もスマホやパソコンを使いこなしているのを見て自分の認識の遅れを痛感。ぜひとも、この機会に最新知識を得たいと思いました。

山本さん：私は、人文科学系コース「大人の自己探求」を選び、「入門 マネジメント」、「哲学」、「社会思想史」を受講しています。最大の関心は、人生の残り約30年をどうマネジメントしていくのかということです。

阪部さん：社会科学系コース「ネクスト・キャリアをどう生きるか」を選択しました。生きがいの見つけ方や地域社会とのつながり方、それを支える資産形成について幅広く学びたいと思ったからです。今は、「文章表現論」「社会を読み解く」「ボランティア論」を受講していますが、後期は「社会とファイナンス」を履修するつもりです。

浅野さん：多文化・国際系コースの「多文化共生、グローバル社会で生きる」を学んでいます。「国際関係論」は、現在進行形の諸問題がわかり、新聞やニュースを違う角度から理解できるようになりました。「社会を読み解く」は、グループワークのディスカッションを通じて異なる意見に触れ、視野が広がるのを感じています。



あさの まさこ
浅野 雅子 さん

甲南女子大学卒業。人材派遣会社でコーディネーターを務める。趣味はテニスと散歩、6歳の孫との恐竜談義。

——渡辺：素敵なキャッチフレーズをありがとうございます。最後に、一言ずつメッセージをお願いしますか。

ともに学ぶ仲間と育む 友情も人生の宝物に

岸田さん：社会に出てさまざまな経験をしたからこそ、授業の内容が深く理解でき、新たな発見に感動できます。この楽しさをぜひ味わってください。

山本さん：学び直しに年齢は関係ありません。学生さんとともにキャンパスで学ぶ日々はやりがいがあり、充実しています！
浅野さん：上質な時間を過ごさせていただき心から感謝しています。パソコンが苦手だった私が今では、サクサク使いこなしています。みなさんも気にせずに挑戦してください。

阪部さん：リカレント生は自然に仲間意識が生まれ、学食でランチを食べたり、休日にトレッキングを楽しんだりしています。学生時代のような友情が育めるのも魅力です。

履修生募集！「学び直し」、始めてみませんか？

人生100年時代の学びプログラム

出願期間 …… 2021年12月1日（水）～
2022年2月15日（火）（最終日消印有効）

プログラム期間 …… 2022年4月1日～2023年3月31日

検定料 5,000円※1 履修料 120,000円※2

※1 本学卒業生*は検定料を免除します。※2 本学卒業生*は100,000円とします。

両プログラムとも、各種オリエンテーション、ガイダンス、履修生向けイベントを開催し、履修生の学習やキャンパスライフをサポート。また、学内施設*を利用していただけます。

*岡本キャンパスの図書館、サイバーライブラリ、パソコン室、トレーニングルーム、グローバルゾーン、医務室、i Commons など

★甲南大学、同大学院、同専門職大学院、甲南高等学校・中学校、旧制甲南高等学校、フランス甲南学園トゥレーヌの卒業生または修了生。

〔2022年度新規開講〕平日夜間・土曜日に開講 Web授業として実施

甲南発 法務リカレントプログラム

出願期間 …… 2021年12月1日（水）～
2022年2月15日（火）（最終日消印有効）

プログラム期間 …… 2022年4月1日～2023年3月31日

検定料 5,000円※1 履修料 150,000円※2

※1 本学卒業生*は検定料を免除します。※2 本学卒業生*は120,000円とします。

インターネットにつながれば学ぶ場所を選びません。本プログラムは主に甲南大学法科大学院が開講する科目で構成されます。企業活動を支える法制度・労務管理や知的財産といった法務に関する専門的知識を身に付け、自治体で必要とされる政策法務・公共法務などの学びができます。

募集要項・資料請求

甲南リカレント

検索

お知らせでご興味のある方が
いらっしゃいましたらぜひご紹介ください。



お問い合わせ

甲南大学 全学教育推進機構事務局
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1
〔開室時間〕平日 9:00～18:00
Email: recurrent@adm.konan-u.ac.jp
TEL: 078-435-2598

年齢に臆する必要なし。 学生との交流が楽しい。

——渡辺：現役の甲南大生と一緒に学び、
交流する環境はどうですか。

浅野さん：「国際関係論」のオンライン授業で、学生さんとグループワークを行ったときのことです。最初はお互いに様子見をしていましたが、次第に緊張がほぐれて打ち解けていく。化学反応が起きるといえばいいでしょうか。「社会を読み解く」では、学生さんの一人がeスポーツについて語り、「ゲームが、他の文化より下に見られるのはなぜか」と問題提起しました。これまでまったく興味のなかったeスポーツを新しい観点から考えることができ、ともに学べる喜びを実感しました。

リカレント教育センター所長

わたなべ ぎしゅう

教授 渡辺 顕修

法学者、弁護士。甲南大学法科大学院で専門家を育成する一方、刑事弁護士としても活動中。刑事手続に関する著書多数、三省堂模範六法の編集委員。



岡本ぶらり

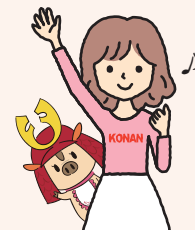
第9回

私たちが紹介します

ナビゲーター/

もっとさん と なんぼーくん

「岡本」のまちをもっともっと知りたい！
好奇心旺盛な女の子と、ご存知甲南
の公式キャラクター。



初心者でも大丈夫！紅葉シーズンも狙い目！
自然に包まれ深呼吸。
岡本発、ロング散歩のすすめ

長引く自粛生活・・・こんなときは、密を避け気分
転換に屋外で楽しまれてはいかがでしょうか。本格
的なハイキングはハードルが高くて・・・と思いの
みなさんに、ロング散歩をオススメします。岡本を
訪れた際に、1～2時間程度の余裕があれば楽し
める、ちょっと長めで高低差も感じながら、自然を
楽しめる散歩コースを紹介します。

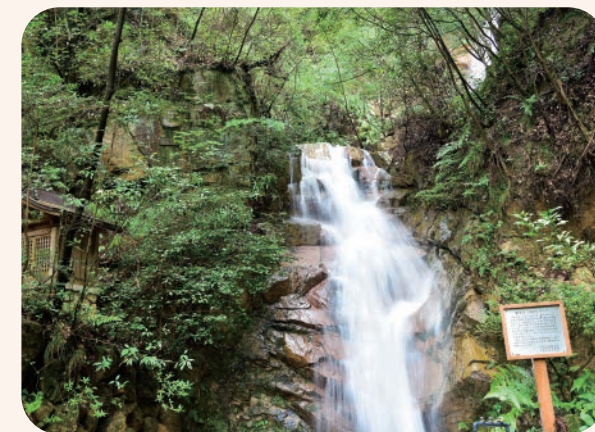
往復約2時間強

Route 3 芦屋川沿いから高座の滝

本山駅北(山手幹線) 開森橋西詰 高座の滝道

約10mの高さから、六甲の岩肌に勢よく流れ落ちる滝
の光景はさすがに癒されます。かつては修験者の道
場だったようです。六甲山最高峰への登山口となっ
ているため本格的なハイカーも多い場所です。高座
の滝までの道のりは所々に標識が出ているので安心
です。

兵庫県芦屋市奥山 周辺



高座の滝



岡本八幡神社

往復約40分

Route 1 天上川公園から岡本八幡神社

本山駅北(山手幹線) 岡本橋 天上川公園

山手幹線の岡本橋から天上川に沿って坂を上がって
いきます。途中、運が良ければかわいい「うりぼう」
の姿が見られるかも。天上川公園を過ぎると、すぐ
に神社に通じる石段が見えてきます。段上は住宅街
からは隔絶された静寂で落ち着く空間です。

兵庫県神戸市東灘区岡本6-10-1

秋の気配を感じに
お出かけを
楽しみましょう。



往復約2.5時間

Route 4 標高約340m、渦森展望台公園

本山駅北(山手幹線) 白鶴美術館前 渦森台

標高約340mに位置する公園へのアプローチは延々と坂道
が続きますので、焦らず気長に歩いてください。渦森台の住
宅街を抜けると、まず渦森台公園が現れ、さらに階段を上
がると渦森展望台公園に到着します。自然豊かなロケー
ションとともに、壮大に広がる眺望もお楽しみいただけます。

兵庫県神戸市東灘区渦森台4-26 周辺



渦森展望台公園からの展望。



渦森展望台公園



清流の道公園まではリバーウォークが楽しめます。

往復約1時間

Route 2 住吉川沿いから清流の道公園

本山駅北(山手幹線) 水道橋 新落合橋

山手幹線を西に向かい、水道橋から住吉川に沿って歩きます。住吉
川沿いは遊歩道が整備されており、のんびりリバーウォークが楽し
めます。きれいなせせらぎで、特に夏の暑い時期はお子さまと一緒に
水遊びも楽しめ、休日は親子連れも多く訪れています。

兵庫県神戸市東灘区西岡本6-11 周辺

